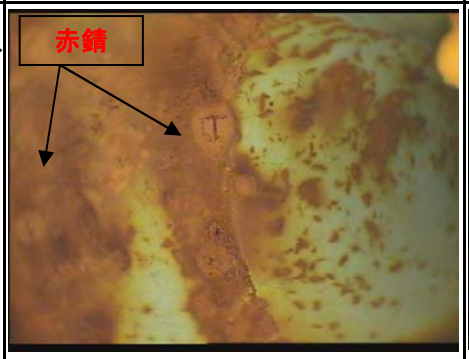
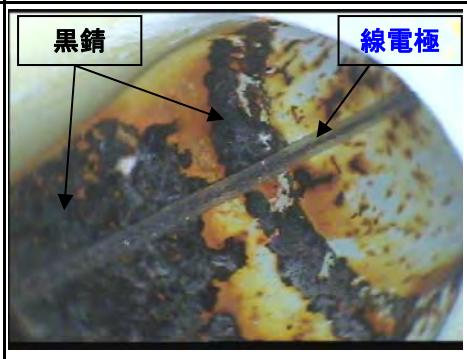
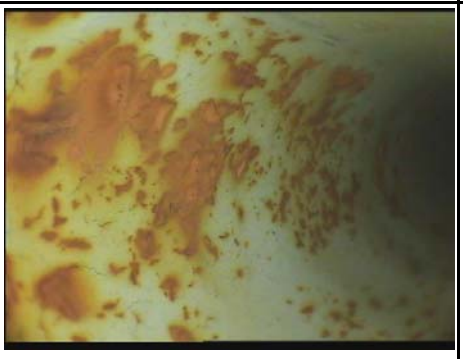
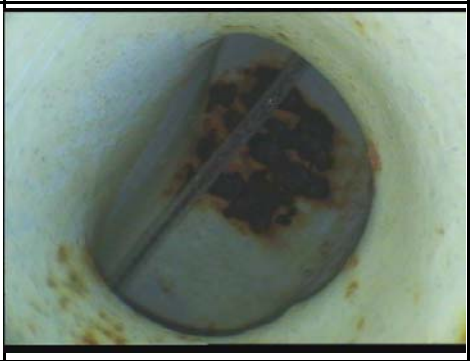
【クレフロス施工後１年経過の給水管内面の検証】

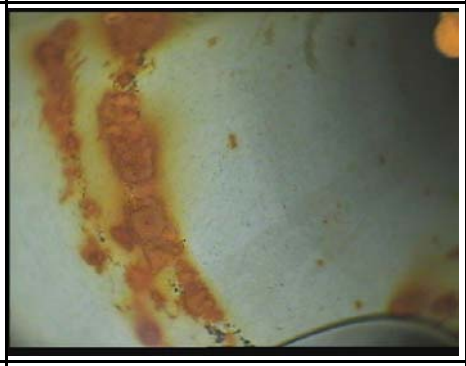
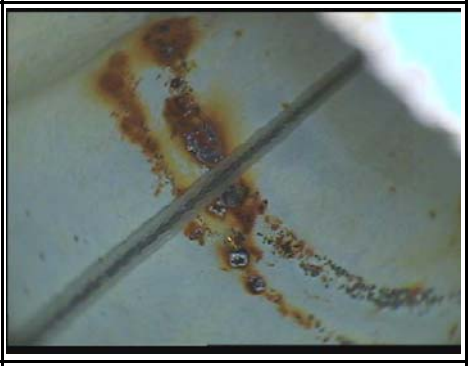
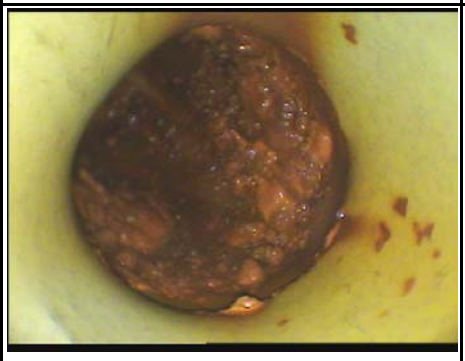
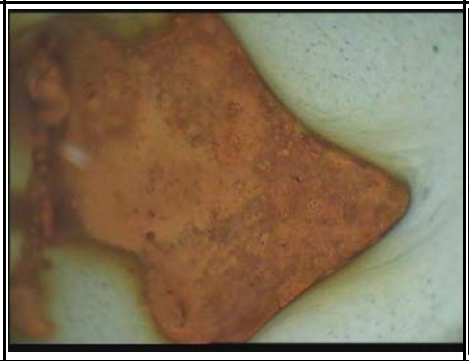
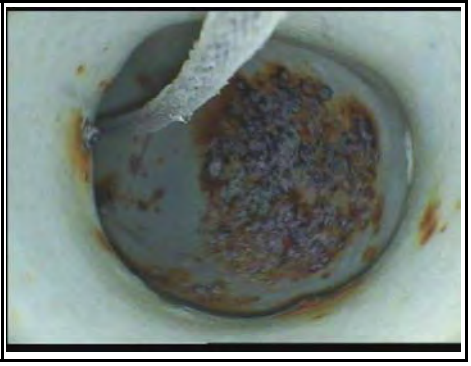
- 某ﾏﾝｼｮﾝにおいて、給水管内に線電極によるクレフロス防食工事を実施し、約１年経過後の防食効果を検証しました。
- この時、施工前と施工後の同じ部屋の同じ箇所を内視鏡で観察し、比較対照しました。
- 尚、当ﾏﾝｼｮﾝは１０数年前に更生工事（ﾗｲﾆﾝｸﾞ工事）を実施し、今回2回目の対策として線電極によるクレフロス防食工事を採用しました。
- 所在地：神奈川県
- 経年数：築後３５年（線電極ｸﾚﾌﾛｽ施工時）
- 配管材質：亜鉛メッキ鋼管（ﾗｲﾆﾝｸﾞ工事実施済み）
- ｸﾚﾌﾛｽ施工：2008年12月
- 検証期間：2008年6月（施工前）
  ～2009年12月（施工後1年）

≪内視鏡観察により判明したこと≫

- ➢ クレフロス施工後の防食された給水管はほとんどが黒錆状態で、施工前の未対策の給水管は全てが赤錆でした。黒錆ということは“新たな錆が発生していない”ことを示しています。
- ➢ クレフロス施工後の防食された給水管内には、ｶﾙｼｳﾑ・ﾏｸﾞﾈｼｳﾑが析出したｴﾚｸﾄﾛｺｰﾃｨﾝｸﾞが見られます。
- ➢ （防食効果が確認できる）

株式会社 サンコン

	平成20年6月24日　撮影（施工前）	平成21年12月18日　撮影（施工後1年経過）
NO1. 506号室　洗面台 第3継手部 チーズ内の状況 （施工後1年経過） 管内に黒錆が見られる		
NO2. 506号室　洗面台 チーズ内の状況 （拡大写真）		
NO3. 506号室　洗面台 直管部の状況 （施工後1年経過） 管内に黒錆が見られる		
NO4. 506号室　洗濯機 第3継手部 チーズ内の状況 （施工後1年経過） 継手内に黒錆が見られる		
NO5. 506号室　台所 第3継手部 エルボ内の状況 （施工後1年経過） 継手内に黒錆が見られる		

	平成20年6月24日　撮影（施工前）	平成21年12月18日　撮影（施工後1年経過）
NO6. 管理室　洗面台 第3継手部 チーズ内の状況 （施工後1年経過） 継手内に黒錆が見られる		
NO7. 管理室　台所 第1継手部 エルボ内の状況 （施工後1年経過） 管内に黒錆が見られる		
NO8. 管理室　台所 第2継手部 エルボ内の状況 （施工後1年経過） 管内に黒錆が見られる		
NO9. 管理室　台所 第3継手部 エルボ内の状況 （施工後1年経過） 管内に黒錆と白いｴﾚｸﾄﾛｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ｶﾙｼｳﾑ･ﾏｸﾞﾈｼｳﾑの付着)が見られる		
NO10. 管理室　台所 第4継手部 エルボ内の状況 （施工後1年経過） 管内に黒錆と白いｴﾚｸﾄﾛｺｰﾃｨﾝｸﾞ(ｶﾙｼｳﾑ･ﾏｸﾞﾈｼｳﾑの付着)が見られる